

関東管内の農林水産物の輸出の取組

(平成16年度関東食料・農業・農村情勢報告記載)

農林水産物の輸出をめぐる現状

経営発展に向けた多様な取組として、高品質な国産農林水産物の輸出促進を図る

我が国の農林水産物の輸出額は2,954億円(16年、真珠・たばこ・アルコール飲料を除いた金額)で、農林水産物の輸入額(たばこ・アルコール飲料を除いた金額)の69,125億円の約23分の1となっている。

この輸出額2,954億円のうち、農産物は1,658億円(構成比56%)、水産物は1,207億円(同41%)、林産物は88億円(同3%)となっている。主な農産品の輸出額はりんごが29億円、なしが7億円、緑茶が17億円、ながいもが13億円となっている。

また、農林水産物の国・地域別輸出額は、輸出額上位10か国・地域のうち、アジア諸国に占める割合は76%で、元年の59%に比べてアジア諸国のウェイトが高くなっている(いずれも財務省「貿易統計」による)。

アジア諸国への輸出額の割合が増加している要因は、世界的な日本食ブームや高品質な日本の農林水産物に対する評価が高まるなかで、アジア諸国の経済発展にともなう所得向上により、購買力が高い顧客層が増えてきたことがあげられる。

このような貿易状況のなかで、管内各都県における農林水産物の主な輸出品目をみると、表1のとおりで意欲的な輸出の取組もみられる。

表1 管内都県における農林水産物の主な輸出品目(15~16年度)

都 県 名	輸出品目・主な輸出先
茨 城 県	なし(「豊水」): 中国
栃 木 県	さつき盆栽、庭園樹: ヨーロッパ各国
群 馬 県	醤油: EU諸国
埼 玉 県	納豆: 韓国、盆栽: ヨーロッパ各国
千 葉 県	野菜(野菜等詰合わせ): 香港在留邦人向け、醤油: 世界各国
東 京 都	観葉植物: EU諸国
神 奈 川 県	温州みかん: カナダ
長 野 県	もも: 台湾、えのきたけ: 香港
静 岡 県	茶: 米国・ドイツ・台湾、温州みかん: 米国・カナダ ピンナガマグロ・カツオ: タイ、水産加工品: 米国、カナダ、韓国等

関東農政局調べ

農林水産物の輸出に向けた取組

農林水産省では、「守りから攻めへの農政の転換」を掲げて、農林水産物の輸出振興を図ることとし、新たに策定された「食料・農業・農村基本計画」において「輸出促進に向けた総合的な取組の推進」が盛り込まれた。

また、17年4月27日に「農林水産物等輸出促進全国協議会」を設立し、今後5年間で農林水産物の輸出額を倍増する目標及び関係者の輸出促進に関する取組を内容とする「我が国農林水産物等の輸出促進基本戦略」を掲げている。

関東農政局においても、管内農林水産物の輸出を積極的に支援するため、組織横断的な「農産物・食品等輸出促進部会」を設置し、生産者や輸出関係者等との情報交換や輸出促進のための支援活動を行っている。

このうち、輸出情報交換会等では、農林水産物の輸出にかかわる情報交換・共有を行い、輸出の問題点の解決や輸出にたずさわる人達同士の横の連携・ネットワークの形成を図った。また、各県が取り組んでいる研究会やジェトロセミナーにも、農政局から積極的に参画している。

「日本産ブランド輸出促進事業」(国庫補助)は管内4県で実施され、食品等を中心に成約されるなど一定の成果をあげている(表2)。

しかし、特に中国本土での農産物の輸入許可や、信頼できる現地バイヤーをどのように見つけるか、継続的な取引・販売への発展などが課題としてあげられ、農政局としても、戦略的に輸出支援を行うこととしている。



16年9月に上海で開催された、中国国際食品飲料展(Food & Hotel China(FHC)2004)には、管内からは千葉県、静岡県が出展。連日盛況で成約品目も出た。

表2 管内県における「日本産ブランド輸出促進事業」の実施状況（16年度）

県名	事業実施主体	実施品目	実施国都市名	主な事業内容
栃木県	(社)とちぎ農産物マーケティング協会	なし(にっこり)、いちご(とちおとめ)加工品	中国(香港)	バイヤー招へい テスト輸出
群馬県	群馬県農畜産物等輸出推進機構	小玉すいか、孀恋キャベツ	台湾(台北)	テスト輸出 商談会 販売促進イベント
千葉県	千葉ブランド・農水産物・食品輸出協議会	有機野菜、なし、チョコレート、日本酒、水産加工、メロン、和菓子	中国(上海) 台湾	商談会 バイヤー招へい テスト輸出
静岡県	静岡県(推進母体：しずおか農水産物海外市場開拓研究会)	みかん、緑茶・抹茶、温室メロン、生わさび・わさび加工品、水産加工品(鮪・鰹たたき等)、いちごワイン等	中国(香港) (上海)	バイヤー招へい 商談会 販売促進イベント(レシピ提案)
	静岡県水産加工業協同組合連合会	水産加工品、冷凍水産物、練り製品、佃煮、鰹・鮪たたき等	中国(香港)	テスト輸出

関東農政局調べ



群馬県からは、孀恋キャベツを現地産の端境期となる9月に、台湾・台北市の百貨店へテスト輸出。キャベツの重さ当てクイズを実施し、好評を博した。



栃木県からは、なし「にっこり」を香港スーパーにテスト輸出。“Smiling Pear”のマスコットを飾った中で試食を勧めながら販売したところ、「ジューシー」、「おいしい」と好評だった。



現地バイヤー等を産地に招へいして、生産現場を見てもらい販売の人脈作り。売れる品作りのためにアドバイスをもらう。写真は、製茶業者の方と中国向け日本茶のパッケージを検討しているところ(静岡県・掛川市)。